



2010～2011年度のレイ・クリンギンスミスRI会長のメインテーマは「BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS」すなわち「地域を育み、大陸をつなぐ」です。具体的には、

1. 平和と紛争の予防と解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展
7. ポリオ撲滅
8. ロータリー財団への支援（青少年育成）

の8項目を挙げられました。中でも特に、ポリオ撲滅と青少年にかかわる活動を強調されています。従来、これほどまでに明確なビジョンが提示されたことはあまりなかったようで、このことからクリンギンスミス会長の並々ならぬ意気込みが感じられます。

当地区と致しましてもこれらの方針を基本に活動を展開することになりますが、地区テーマを「ロータリークラブについて もう一度考えてみませんか」とし、よりよい環境づくりを目指して皆さんとともに実行してまいりたいと考えております。

その際のヒントになることを願い、次の7項目を掲げます。

1. 会長と会員のリーダーシップに期待します
2. クラブの活性化と相互交流を推進します
(例会出席こそ最大のクラブ奉仕)
3. 若者を育み世代をつなぎます
4. 新しい仲間を増やします
5. 健康と儉約に留意します
6. 自分にできる奉仕をもう一度考えてみます
7. 寄付について：ポリオ撲滅に3,000円、ロータリー財団へ130ドル、米山記念奨学金に20,000円

もちろんこれ以外にもさまざまなテーマが考えられますが、特に申し上げたいのは出席率100%の実現です。月1回で結構ですから「欠席者ゼロ」の例会を目指しましょう。すでに達成されているクラブもあると思いますが、まだのクラブはこれを機にぜひ実現させてください。出席率100%が月1回からやがては2回、3回となり、こうした状況が定着すればおのずとよりよい環境が約束されるでしょう。いずれは毎回100%を達成するクラブも出てくるかもしれません。ぜひ「われ先に」と、実現を目指してください。

ロータリークラブ設立当初の理念が、異業種交流で得られる深い知識につながり、大きな魅力になってきました。互いに親しく話し合える場所、それがロータリークラブです。一人ひとりの信頼と親睦は、やがて波紋のようにどんどん大きく広がっていくでしょう。

各クラブが独自のアイデアを持つこともまた、重要です。RIの方針や地区方針とともに、クラブ発展のためさまざまなアイデアを披露していただきたいのです。そしてさらには新会員の勧誘も重要課題です。しかしあくまでも「甘誘」であってはなりません。うまい話ばかりでなく、ロータリーの真のサービス精神とは何かを、わかりやすく説明してください。

何よりも、地区内の会員お一人おひとりが主役です。これからの一年間、そしてその先の未来へと続く時間を、ともに歩んでまいりましょう。

ロータリークラブについて もう一度考えてみませんか

ガバナープロフィール

国際ロータリー第2660地区
2010～2011年度ガバナー

松本 新太郎 (まつもと しんたろう)

生年月日 1938年1月5日
勤務先 松本油脂製薬株式会社
所在地 〒581-0075
八尾市渋川町2-1-3
経歴 1962年 甲南大学経済学部卒業
1962年 東洋敷物株式会社入社
1964年 日商岩井株式会社入社
1966年 松本油脂製薬株式会社入社
1978年 同 専務取締役
2008年 同 取締役相談役 現在に至る

職業分類 界面活性剤製造販売

ロータリー歴 1976年5月 八尾RC入会
1979～1980年度 広報委員会
1983～1984年度 国際奉仕委員長
1984～1985年度 幹事
1991～1992年度 職業奉仕委員長
1992～1993年度 副会長
1995～1996年度 会長エレクト
1996～1997年度 会長
1997～1998年度 親睦活動委員長
1998～1999年度 無任所理事

その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者 (マルチプル)

